

知っていますか、シカの森林被害



深刻なシカ被害



【近年の個体数増加・食害増加の要因】
①オオカミ絶滅(1905年奈良県での捕獲が最終記録)
②地球温暖化→積雪量減少→シカ死亡率低下
③林業の衰退
植樹成長・手入れ不足→林床に日光が届かず餌となる下草減少
→新たな餌場(植樹箇所の草本・苗木、高山植物の新芽など)

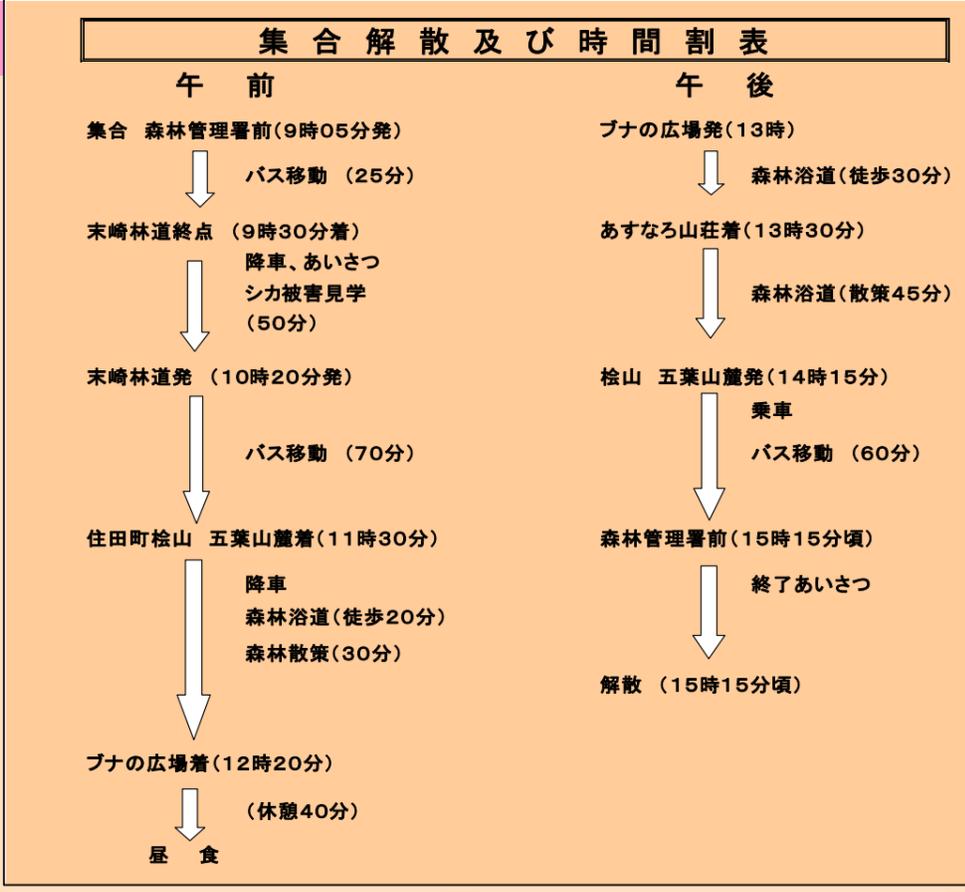


ホンシュウジカについて
■岩手県沿岸が分布の北限。
■草場が入り込んだ森林地帯に生息し、草、木の葉、笹類などを採食する。
■一夫多妻制で群れて生活。雄は角を持ち、毎年生え替わる。
■秋になるとシカの遠い引きをする鳴き声が山に響きわたる。翌年6月頃出産する。

末崎 シカ森林被害 案内図

シカ被害見学 59は1
バス終点
三陸道
末崎林道
船河原

林班	面積	樹種	林齢	保安林	鳥獣保護	分収造林
59は1	2.93	スギ	5	×	×	×



◎森林管理する面積(大槌・気仙川流域)

区分	面積(ha)	比率%
管理面積	30,241	
国有林面積	29,056	96
官行造林面積	1,185	4
うち自然公園	3,096	11
うち保安林	26,795	92
うち保護林等	5,301	18

◎森林と人との共生林の面積

区分	面積(ha)
自然維持タイプ	2,260
うち保護林	1,951
森林空間利用タイプ	540
うちレクリエーション	9
合計	2,800

署の沿革

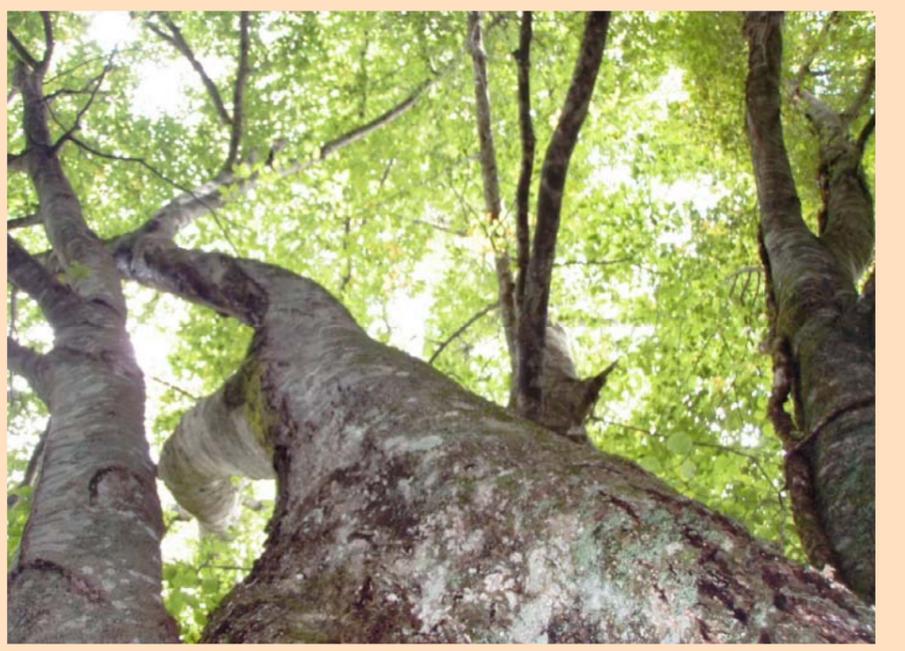
管内の国有林は、藩政時代の伊達藩と南部藩の領有でしたが、版籍奉還により国へ所有が移され官林となったものです。

- 藩政時代 伊達藩と南部藩の領地
- 明治21年 9月 岩手大林区署盛派出所設置
- 明治25年 8月 盛小林区署に改称
- 大正13年 12月 盛営林署に改称、高田公有林野官行造林署新設
- 昭和23年 1月 高田公有林野官行造林署廃止(管轄を気仙沼営林署と分割)
- 昭和27年 7月 大船渡営林署に改称
- 平成7年 3月 大槌営林署を統合
- 平成11年 3月 三陸中部森林管理署に改称

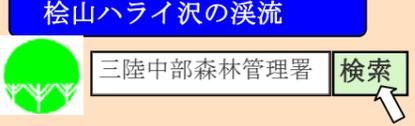


お問い合わせ先
◎三陸中部森林管理署
〒022-0003
岩手県大船渡市盛町宇津野沢7-5
TEL050-3160-5910 FAX0192-26-4279
e-mail t_sanrikucyubu@rinya.maff.go.jp
○世田米森林事務所
〒029-2311
岩手県気仙郡住田町世田米字川向62-1
TEL 0192-46-2042 (FAX兼用)
○高田森林事務所
〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町字曲松111-3
※連絡は世田米森林事務所まで
○大槌森林事務所(上級森林事務所)
〒028-1131
岩手県上閉伊郡大槌町須賀町37 7-3
TEL 0193-42-3202 (FAX兼用)
○栗橋森林事務所
〒026-0411
岩手県釜石市橋野町34-23-4
※連絡は釜石森林事務所まで
○釜石森林事務所
〒026-0045
岩手県釜石市小川町1-13-10
TEL 0193-23-5140 (FAX兼用)

森林の癒しを求めて
五葉山麓 秋の森林浴



かぶだち
落葉前のブナ株立ちと樹冠(五葉山麓 黒森林道付近より撮影)



東北森林管理局 三陸中部森林管理署

ようこそ松山国有林へ

住田町上有住の松山国有林の山岳地帯は、ヒメコマツ、ヒバ、ネズコ、ナラ等の天然林が広がっています。また、五葉山山頂に至るまでの区域には貴重な植物群落が存在することから、保護林にも設定しているほか、ほぼ全域が自然公園、保健保安林に指定されています。

さらに、貴重な動植物の保護を図りつつ、森林とのふれあいを重視した森林づくりを行う「森林と人との共生林」に区分して、保健文化・教育活動の場の整備、自然景観の維持に努めており、五葉山自然観察教育林として観察学習に利用しています。

標高800mに並び立つブナの林



フイトンチッドを浴びよう

フイトンチッドとは、樹木などから発散される化学物質で、殺菌性や森林の香りの成分であることから、健康だけでなく癒しや安らぎを与える効果があります。

ブナにできたこぶ



五葉山麓の森林浴道



ブナと混交するヒノキアスナロ（俗称ヒバ）林



ヒバの天然稚樹は将来に向け長い年月を待ちます(写真上)。その稚樹は倒木等で森林内が明るくなるとグングン成長し、次世代を引き継ぎます(写真下)。

落ちたての葉は甘い香りが漂うカツラ



火縄銃の縄にヒバの皮を使用



ブナ巨木(直径120cm)との出会い

朽木にツキヨタケ



ミズナラの実

野生動植物との共存

森林はニホンザル、ホンシュウジカ、ツキノワグマ、カモシカ、リス、昆虫などの多様な生き物が生息する場です。

今年ブナ実を求めクマの爪痕(左) 右)



ブナの幹は白いまだらが特徴

五葉山麓 森林散策 現地案内図



林班	水源涵養保	保健保安林	鳥獣保護	自然観察教育林	植物群落保護林	県立自然公園	緑の回廊
9と2	○	×	○普通	×	×	○3種	○
7い	○	×	○普通	×	×	○3種	○
7ろ	○	×	○普通	×	×	○3種	○
631	○	○	○特別	○	○	○2種	×

森林と人との共生林



機能類型 3区分	管理経営の考え方
公 ●水土保全林(81%) 土砂崩れの防止といった国土の保全や水資源の確保など、安全で安心な国民生活の維持を重視した森林をつくります。	樹根や表土の保全、下層植生の発達を期待される育成複層林施業、長伐期施業を推進しています。
林 ●森林と人との共生林(10%) 多様な生物の遺伝資源や保護など自然環境を保全し、また、森林とのふれあいの場を提供することを重視した森林をつくります。	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持に努めています。
益 ●資源の循環利用林(9%) 公益的機能に留意しつつ、持続的・計画的な木材生産を重視した森林づくりを行います。	森林の健全性を確保し、多様化する木材需要に応じた材木を育成するため適切な更新・保育及び間伐を推進します。